

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第2区分  
 【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-202093(P2003-202093A)

【公開日】平成15年7月18日(2003.7.18)

【出願番号】特願2002-278254(P2002-278254)

【国際特許分類第7版】

F 1 6 L 21/04

E 2 1 D 9/06

F 1 6 L 1/00

F 1 6 L 1/024

【F I】

F 1 6 L 21/04

E 2 1 D 9/06 3 1 1 A

F 1 6 L 1/00 M

F 1 6 L 1/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月16日(2005.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

次いで、受口3内面と挿口2の外面との間にバックアップリング7、シール用ゴムリング4及び割輪5bを配置し、ボルト5aを押輪5及び受板部材9に挿通して締結し押輪5を適当な締め付け力で締付けることによって継手を接続する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

ここで、図14(イ)に示す押輪15は、挿口2外周に巻き締め固定される二つ割りないしは四つ割りとされ、内面に周方向凹溝17を有し、周方向凹溝17内に、挿口2外面に係合する爪片18aを有する入り込み防止部材18が収納され、セットボルト19で径方向へ締め付けることにより強力な推進力が発揮されるようにされている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 6】

図14(ロ)に示すものは、セットボルト19の締め付け方向を挿口2の管軸に対して傾斜させ、入り込み防止部材18内面に形成される爪片18aを二条設けることで、入り込み防止力が発揮されるようにしたものである。